

測定結果の算出方法

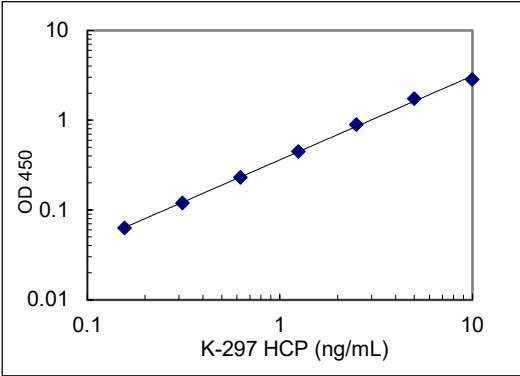
- 1
- グラフの X 軸に標準物質濃度を、Y 軸にその吸光度をプロットします。各プロットに適当な回帰曲線を当てはめ(例:両対数変換の二次回帰等)、検量線を作成します。

- 2
- 検体の吸光度を検量線に当てはめ、濃度を読みとります。

- 3
- その値に検体の希釈倍率を乗じ、検体の濃度を算出します。

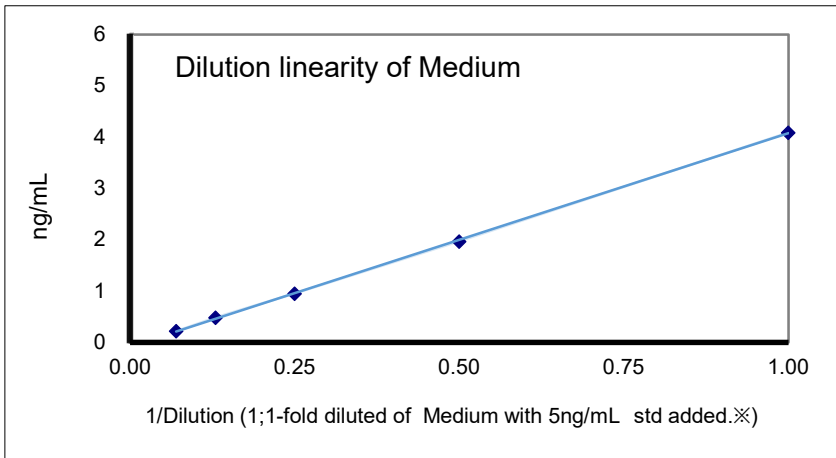
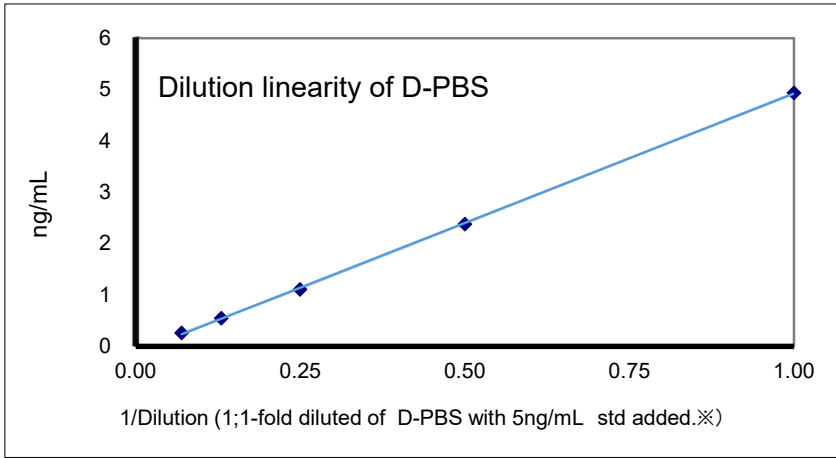
測定値と検量線作成例

標準品濃度 (ng/mL)	吸光度 (450nm)
10	2.848
5	1.744
2.5	0.891
1.25	0.447
0.63	0.231
0.31	0.120
0.16	0.063



性能

- 1 感度
- 0.03 ng/mL (標準品を用いて NCCLS 法にて算出)
- 2 測定範囲
- 0.16 ~ 10 ng/mL
- 3 希釈直線性



(※標準物質を添加したサンプルを使用しています)

4 添加回収試験

検体	添加量 (ng/mL)	理論値 (ng/mL)	測定値 (ng/mL)	%
D-PBS (x2)	5.00	5.00	5.77	115.4
	2.50	2.50	2.74	109.6
	1.25	1.25	1.29	103.2
	0.63	0.63	0.61	96.8
Medium (x2)	5.00	5.00	4.75	95.0
	2.50	2.50	2.08	83.2
	1.25	1.25	0.95	76.0
	0.63	0.63	0.47	74.6

5 同時再現性

測定値 (ng/mL)	SD (ng/mL)	CV (%)	n
4.33	0.23	5.3	24
1.94	0.09	4.6	24
0.73	0.04	5.5	24

6 測定間再現性

測定値 (ng/mL)	SD (ng/mL)	CV (%)	n
4.23	0.27	6.4	7
1.92	0.16	8.3	7
0.76	0.06	7.9	7

7 特異性

測定物質	交差性
K-297 HCP	100%
D-PBS	N.D.
Medium	N.D.
高濃度タンパク質溶液	N.D.

使用上または取り扱い上の注意

1 取り扱い上(危険防止)の注意

- (1)
- 構成試薬には動物血液成分を含む物があります。取り扱いに注意し使用後は手洗いなどをおこなってください。
- (2)
- 停止液は強酸性(1N 硫酸)です。衣服・皮膚等への接触および廃棄には十分注意してください。

2 使用上の注意

- (1)
- 標準物質は、凍結乾燥品です。開封は、十分注意しゆっくりとおこなってください。
- (2)
- 保存は、2~8℃としてください。
- (3)
- 希釈用緩衝液、標識抗体濃縮液および濃縮洗浄液は、まれに析出を認める場合がありますが、性能に問題はありません。
- (4)
- ロットが異なる製品の構成試薬や他のキットの構成試薬を混ぜたり、交換したりして使用しないでください。
- (5)
- 期限切れの試薬は、使用しないでください。

3 廃棄上の注意

- 使用後の抗体プレートや試薬は多量の水で洗い流してから廃棄してください。

貯蔵方法・有効期間

- 2~8℃ 保存
- 使用期限は外箱に記載

包装単位および製品番号

- 96 Well
- 製品番号 27802

問合せ先

- 株式会社 免疫生物研究所
- 〒375-0005 群馬県藤岡市中 1091-1
- 電話:0274-50-8666 FAX:0274-23-6055
- URL: <https://www.ibl-japan.co.jp>
- E-mail: do-ibl@ibl-japan.co.jp